

1 学校の重点目標

- (1) 人権教育を基盤とした教育活動の推進
  - ・ 自尊感情・自己肯定感の育成（出番と心の居場所のある学級・学校づくり）
  - ・ 職員と児童の信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係の醸成
  - ・ 自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てる道徳教育
- (2) 確かな学力の育成
  - ・ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づく授業改善
  - ・ GIGAスクール構想の推進・充実（タブレット端末の効果的活用）
  - ・ 言葉による見方・考え方を働かせる場の工夫（言語活動の充実）
- (3) 保健・安全指導の推進
  - ・ 学校における「新しい生活様式」を踏まえた感染防止策の徹底と教育活動の充実
  - ・ 様々な危険を予測し、回避する能力の育成（KYTの積極的な推進）

2 課題と改善策（4段階評価 4：とても思う 3：思う 2：あまり思わない 1：思わない）

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学校経営	1 校長の学校経営方針は、保護者や地域にはっきりと伝わっている。	3.7	・ 学校日より、学級通信、学校HP・ブログ、学校運営協議会での、広報活動の充実を図る。
	2 めざす子どもの姿に向かって目標を設定し努力している。	3.3	・ 授業における言語活動の充実、俳句作りを中心とした表現活動の充実を図る。
	3 思いやりの心を育む教育活動が計画的に位置付けてある。	3.3	・ 道徳の授業参観、図書コーナー・掲示の充実、人権教室の内容充実を図る。
	4 先生と子どもとの好ましい人間関係づくりがなされている。	3.8	・ 子ども一人一人に寄り添い、子どもの立場に立った関係を築く（教児同行）
	5 教育の質の維持、向上をめざした業務改善に取り組んでいる。	3.1	・ 1アクション、1トライを中心に、簡素化や効率化を進める。
学習指導	6 子どもたちは、楽しそうに生き生きと学習に取り組んでいる。	3.8	・ 授業づくりの3ポイントを意識し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
	7 学力向上について、授業における指導法の改善に努めている。	3.3	・ テーマ研究・共同研究に基づく、系統的・実践的な教材研究の深化を図る。
	8 家庭学習の定着など家庭との連携が図られている。	3.2	・ 「やる気カード」の活用など、家庭学習強調月間を中心とした取組を継続する。
生徒指導	9 いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	3.2	・ チーム対応を充実させ、外部機関との連携を図る。
	10 家庭や関係機関等の相談体制がとられている。	3.5	・ 定期的に相談の機会を設け、SC来校日の周知を図り、相談体制を充実させる。
保健指導	11 子どもたちの心身の健康について、一人一人の実態に応じた手立てをとっている。	3.3	・ 健診結果や体力テスト結果を基に、心身の健康保持・増進に努める。
	12 健康について、家庭や医療機関との連携を図っている。	3.7	・ 広報活動や相談体制を充実させる。機関等を具体的に紹介する。
	13 子どもたちの安全(登下校、自然災害時)について細心の注意をはらっている。	3.4	・ 集団下校、保護者引取訓練、避難訓練を計画的に実施し、日常の安全指導に努める。
環境衛生	14 学校は常に整理整頓、清掃がなされ、花や緑に囲まれている。	3.3	・ 役割分担を明確にし、整い落ち着いた環境づくりに努める。(掲示剥がれ・破れ点検)
	15 学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検や補修等がなされている。	3.6	・ 安全点検に基づく迅速な校内対応と計画的な修繕依頼を行う。

3 次学期に向けての取組

- ・ 確かな学力の定着に向けて、テーマ研修・共同研究の充実を図り、課題の克服に努める。
- ・ 子供一人一人の心身の状況を把握し、情報を共有し、チーム対応で個別の課題解決に努める。
- ・ 安全な学校生活を送ることができるよう、日常的な安全指導と環境点検を強化し、児童自らが主体的に危険に気付き、安全な過ごし方を考えられるような機会を設ける。